

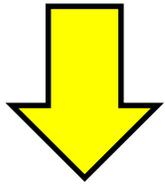
# 特別支援情報交換会

伊丹市教育委員会事務局学校指導課□

# インクルーシブ教育システムの構築

～共生社会の形成に向けて～

共生社会とは、障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。



共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築

学校教育は、障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加を目指した取組を含め、「共生社会」の形成に向けて、重要な役割を果たすことが求められている。その意味で、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための**特別支援教育の推進**についての基本的な考え方が、学校教育関係者をはじめとして国民全体に共有されることを目指すべきである。

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進（報告）」  
（文部科学省 平成24年7月）より



# インクルーシブ教育システムの構築

～共生社会の形成に向けて～

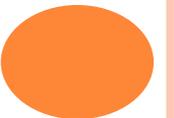
共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築

インクルーシブ教育システムにおいては・・・

- ① 障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み
- ② 個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。

**連続性のある「多様な学びの場」**を用意しておく必要がある。

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進（報告）」  
（文部科学省 平成24年7月）より

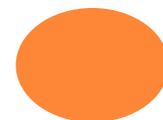
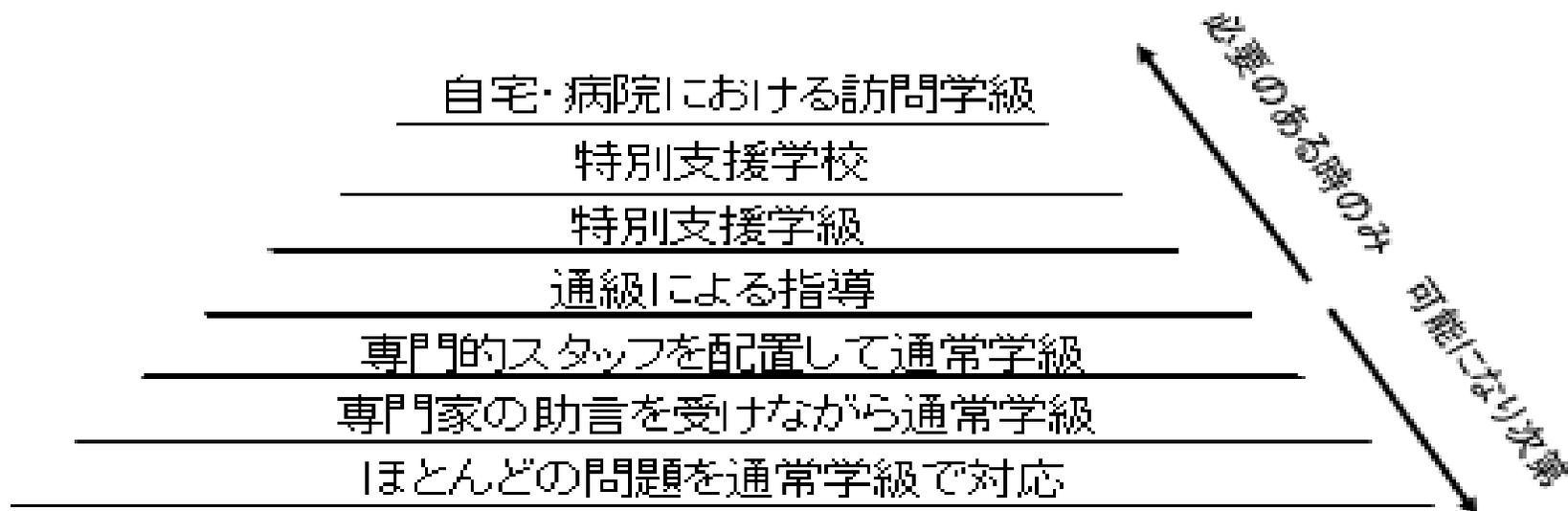


# インクルーシブ教育システムの構築

～共生社会の形成に向けて～

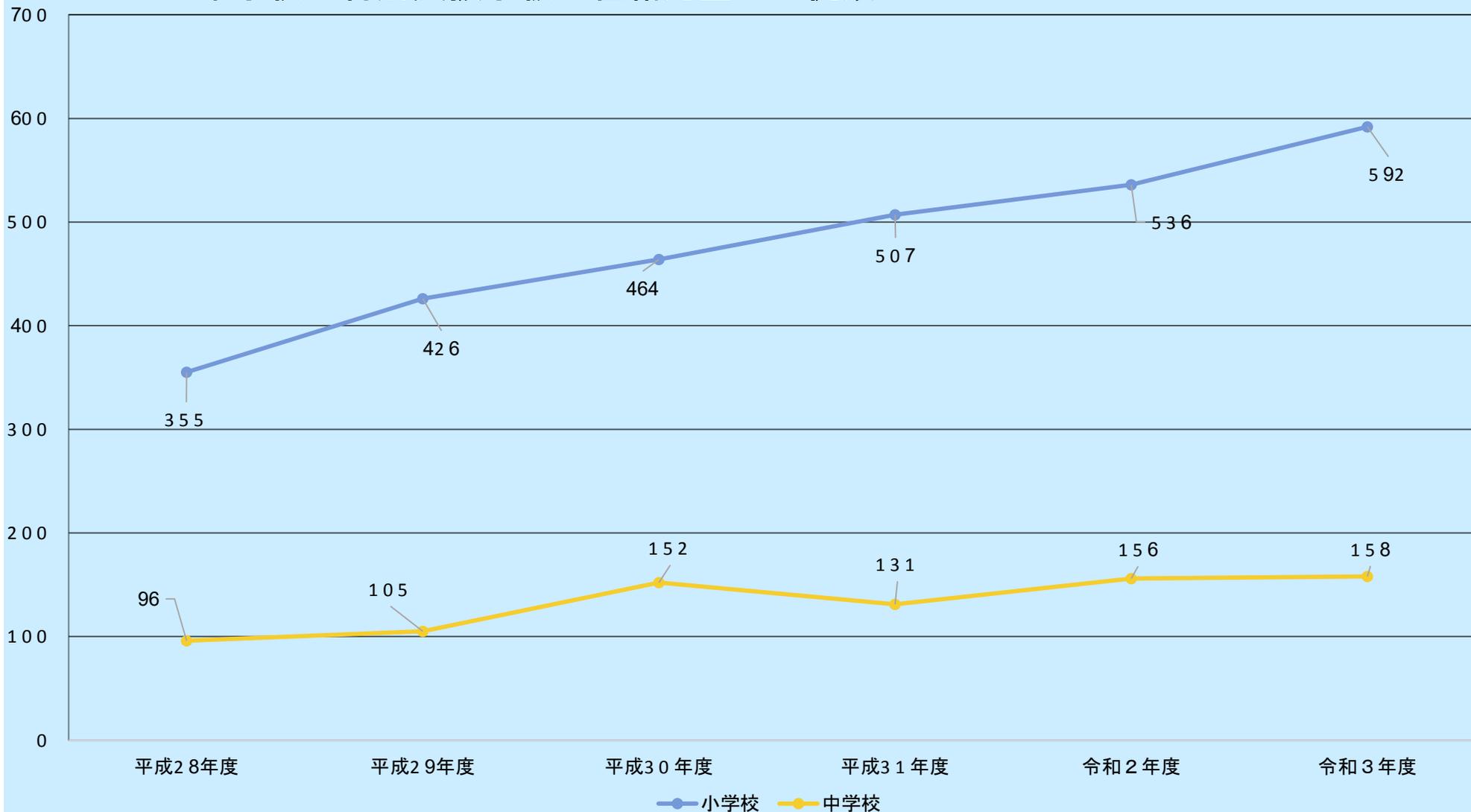
## 日本の義務教育段階の 多様な学びの場の連続性

同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要。



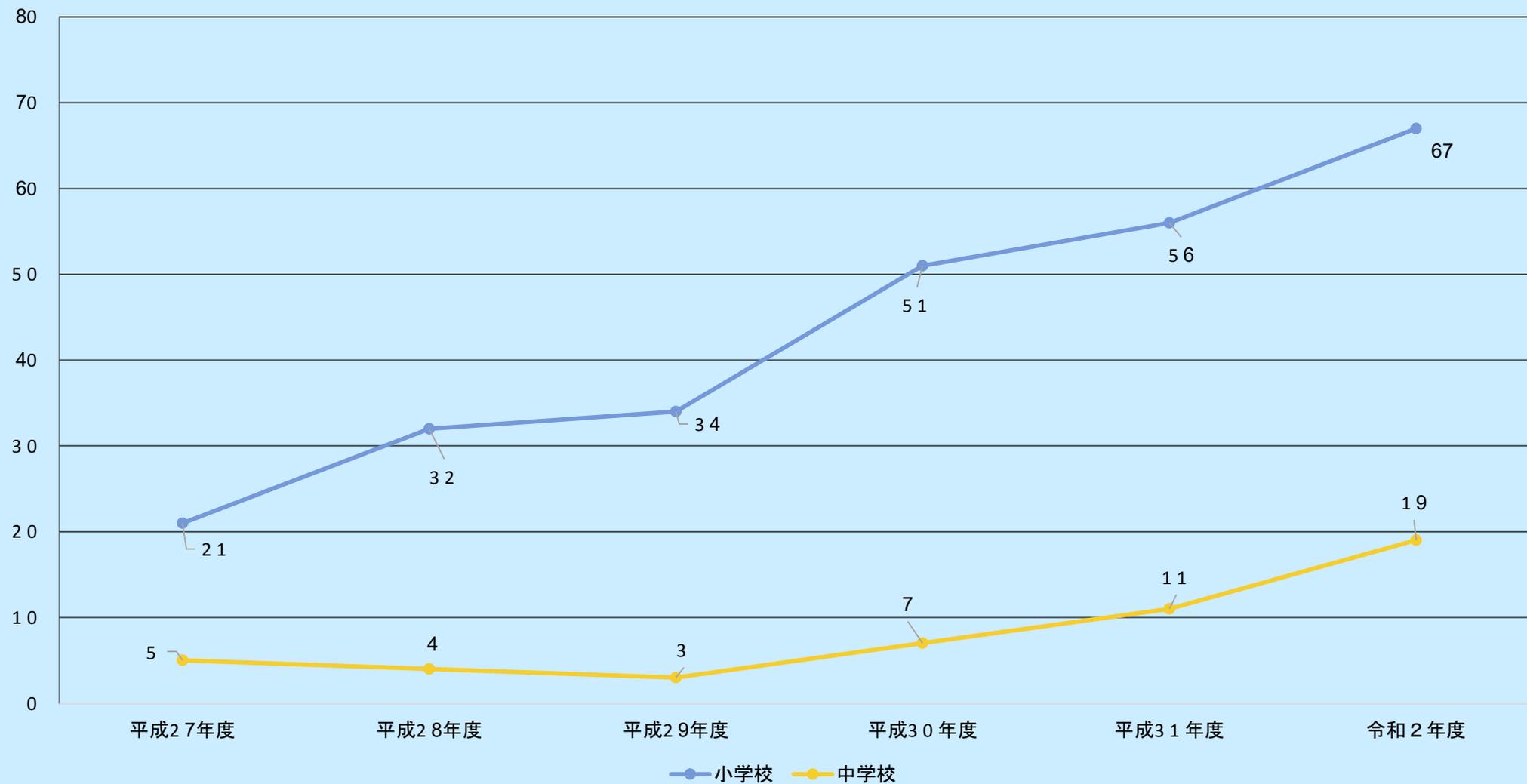
# 本市の特別支援教育の状況

## 小・中学校の特別支援学級 在籍児童・生徒数



# 本市の特別支援教育の状況

## 小・中学校の通級による指導を受けた児童・生徒数

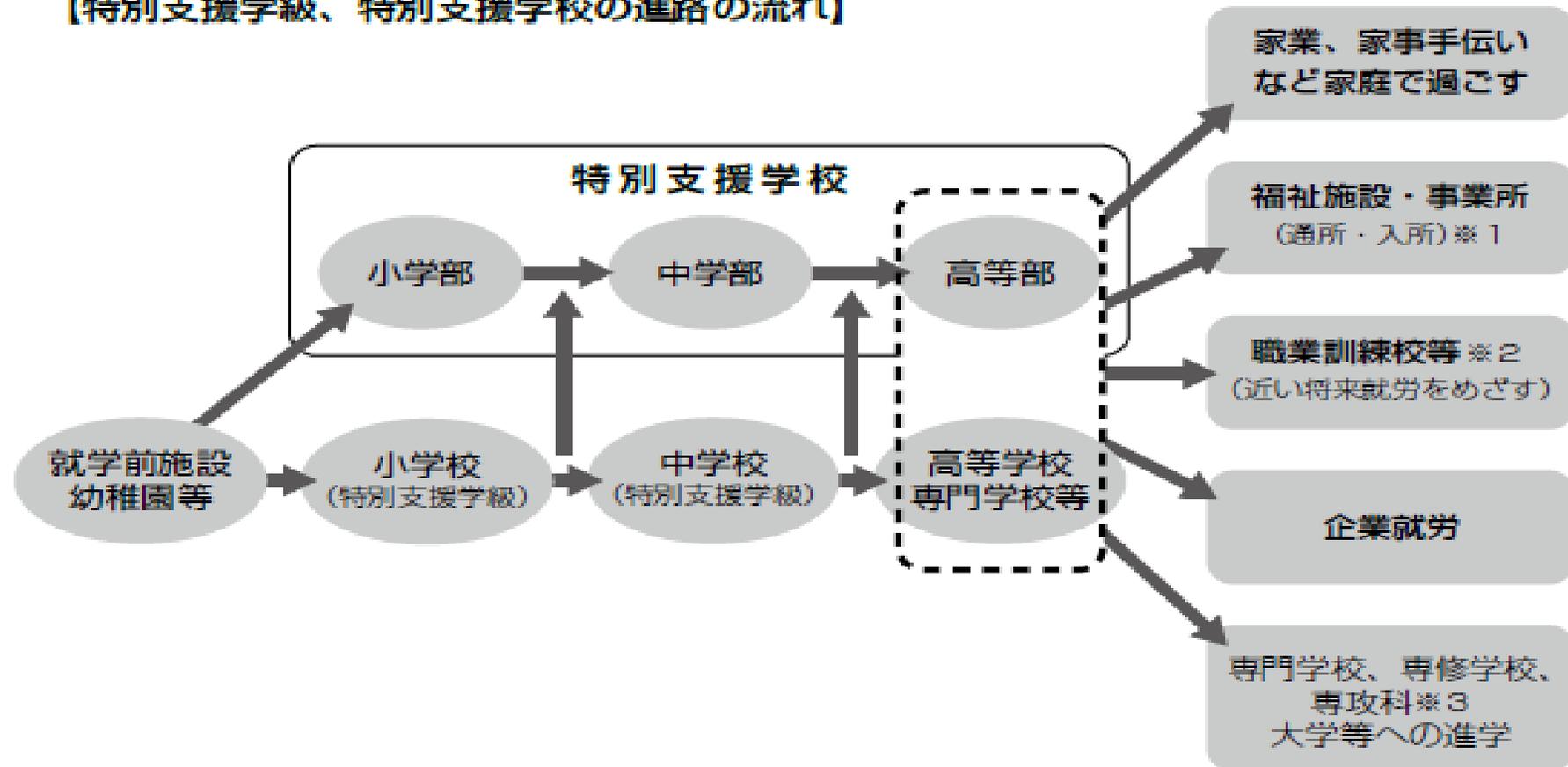


# 中学校卒業後の進路状況について

特別支援学級の生徒は、中学校卒業時に、高等学校、特別支援学校、専門学校、専修学校などに進学しています。義務教育ではないため、進学せず就労や福祉施設への進路も可能です。

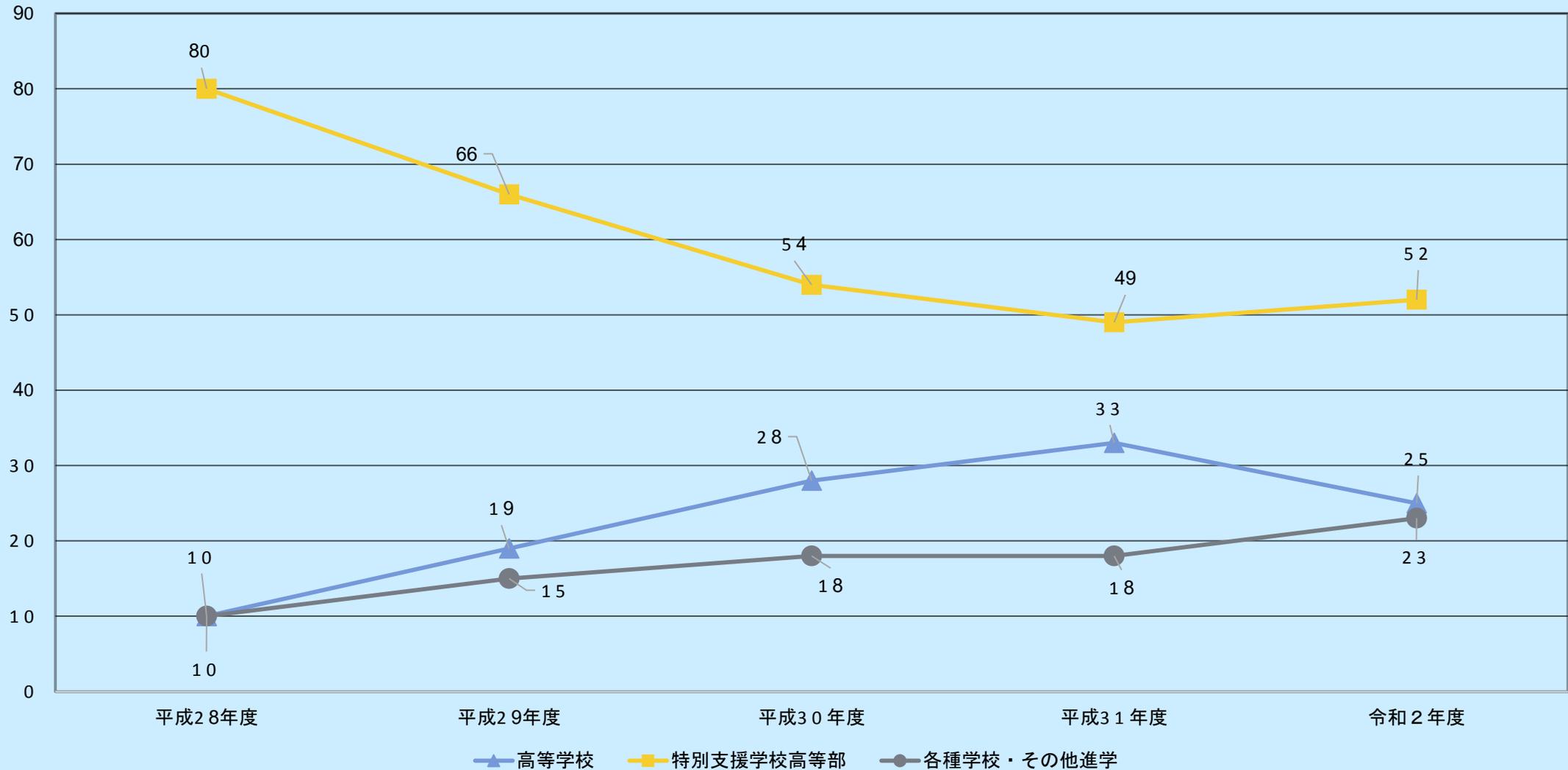
特別支援学校高等部を卒業した後は、企業就労や福祉施設、事業所など本人の特性に応じた進路選択があります。

## 【特別支援学級、特別支援学校の進路の流れ】



# 中学校卒業後の進路状況について

(%) 特別支援学級在籍生徒の卒業後の進路先の割合



# 高等学校での支援について

兵庫県立高等学校における  
**特別な教育的ニーズへの対応**  
～高等学校での特別支援教育を進めています～

兵庫県マスコットはタン

**高等学校における特別支援教育**

すべての生徒のために

**わかりやすいユニバーサルな授業**  
すべての生徒にとってわかりやすいように指導方法を工夫した授業を行うことにより、クラスの中にいる発達障害等のある生徒もみんなと一緒に学びやすくなります。

特別な教育的ニーズのある生徒のために

**合理的配慮の提供**  
合理的配慮とは、障害のある者が、他の者と平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことです。

障害に応じた特別の指導が必要な生徒のために

**通級による指導**  
平成30年度に制度化されました。  
(詳しくは次ページ参照)

ユニバーサルな授業  
話を聞くだけより、黒板があるとよりわかりやすい。

<参考> 「特別支援教育の視点をいかにした授業のユニバーサル化の取り組み」(平成28年3月)  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~sho-bo/jugyoujunnbi/kyouzai/H2804ud.pdf>

平成30年度より制度化

現在、県内では17校（+巡回校3校）  
の高等学校で  
**通級による指導**が行われている。

※設置していない学校でも、学校生活において個別に必要とされる合理的配慮の提供を受けることができます。

阪神地域では・・・

- 県立西宮香風高等学校
- 県立宝塚西高等学校
- 県立阪神昆陽高等学校
- 県立西宮甲山高等学校（巡回）





# 中学校から高等学校等への引継ぎについて

## 「中学校・高等学校連携シート」

障害の特性等により学校生活や学習に困難を抱えている生徒が高等学校で一貫した支援が受けられるよう、生徒についての基本の情報や、中学校での生活の様子や学習状況などをまとめたシート。

## 「サポートファイル等」

特別な支援が必要な人のプロフィールや生育歴、生活習慣、支援が必要な場合の関わりの工夫などについてまとめたファイル。保健や福祉、医療、教育等の関係機関に共有化され、乳幼児から成人になるまで一貫した継続的な支援、総合的な支援が受けられるように、県や市町の福祉関係機関や教育委員会が普及を進めている。保護者が管理している場合もある。

# 4 中学校から高等学校等への引継ぎについて

## サポートファイル・個別の支援計画

# ステップ★ぐんぐん

活用にあたって

改訂版 平成31年度(2019年度)～



支援が必要な生徒についての情報を確実に引継ぎ、対象生徒が高等学校進学当初から適切な配慮が受けられる体制づくりを行う

伊丹市・伊丹市教育委員会



兵庫県教育委員会事務局特別支援教育部

### 中学校・高等学校連携シート

●作成に関する情報

作成者	立 中学校	担任	作成日	平成 年 月 日
-----	-------	----	-----	----------

●生徒についての基本情報

生徒の名前	生年月日	平成 年 月 日	性別	
在籍状況	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級	通級の利用	有・無	スクールの利用 有・無
在籍時期		通級の利用時期		手帳の有無 有( )・無
医療情報	病名	主治医		
	服薬	有・無	薬名	
診断名	有・無	(医師)	診断時期	
相談機関		担当者	サポート係	有・無

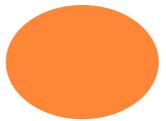
●サポートのために必要な情報

コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 友人がいない <input type="checkbox"/> 友人が欲しいと願っている <input type="checkbox"/> 友人が数人いる <input type="checkbox"/> 教師とは話せる <input type="checkbox"/> 相談できる人がいる <input type="checkbox"/> 表現が強い <input type="checkbox"/> SOSが出しにくい <input type="checkbox"/> 苦悶感の自覚がない <input type="checkbox"/> 強力を要する <input type="checkbox"/> 相手の感情状態が苦手 <input type="checkbox"/> 手振りの受け取り <input type="checkbox"/> 前向きがある <input type="checkbox"/> 積極的に人と関わる <input type="checkbox"/> 受け身で自分から関係を築きにくい <input type="checkbox"/> 聞き手になりやすい	特記事項 配慮事項
学習	<input type="checkbox"/> 読みの書き字がある <input type="checkbox"/> 書きの書き字がある <input type="checkbox"/> 計算の書き字がある <input type="checkbox"/> 漢字や語など形を覚えにくい <input type="checkbox"/> ノートの作成が苦手 <input type="checkbox"/> 聞きながら書くことが苦手 <input type="checkbox"/> 板書が読めない <input type="checkbox"/> 学習に遅延的 <input type="checkbox"/> 集中しにくい <input type="checkbox"/> 提出期限を守るための取組が苦手 <input type="checkbox"/> 整理を要する <input type="checkbox"/> 運動的・身体的に負担が大きい	特記事項 配慮事項
日常生活	<input type="checkbox"/> 治療だけでなく生活のことを理解する <input type="checkbox"/> 集中が難しい <input type="checkbox"/> 忘れがちなことが多い <input type="checkbox"/> 集団活動より一人を好む <input type="checkbox"/> 自傷、他害がある <input type="checkbox"/> 不潔な行動がある <input type="checkbox"/> 運動性が強い <input type="checkbox"/> こだわりがある <input type="checkbox"/> ゲームや他人に依存しやすい <input type="checkbox"/> マイペースである <input type="checkbox"/> 礼儀正しい <input type="checkbox"/> 感覚過敏・鈍麻がある <input type="checkbox"/> 友人の援助を借りやすい <input type="checkbox"/> 友人の援助が借りにくい	特記事項 配慮事項
感情コントロール	<input type="checkbox"/> ストレスをかかえやすい <input type="checkbox"/> かっとなりやすい <input type="checkbox"/> おどおどか <input type="checkbox"/> 不安を抱えやすい <input type="checkbox"/> フラッシュバックがある <input type="checkbox"/> 想定外のことが起こると不安定になる <input type="checkbox"/> 自分中心性が強い <input type="checkbox"/> 拗ねがある <input type="checkbox"/> 自分の感情に気づきにくい <input type="checkbox"/> 感情の切り替えが得意でない <input type="checkbox"/> 相手の意図を察知する、情緒的、攻撃的に感ぜやすい <input type="checkbox"/> 自分の感情を伝えるのが苦手	特記事項 配慮事項
本人の特性理解	<input type="checkbox"/> 本人告知を受け、診断名を知っている <input type="checkbox"/> 診断名は知らないが、特性は知っている <input type="checkbox"/> 診断名も特性も知らない <input type="checkbox"/> 本を頼りながら学ぼうとしている <input type="checkbox"/> 診断を積極的に受けている <input type="checkbox"/> 診断を前向きに受けている <input type="checkbox"/> 障害特性を特に気にしていない <input type="checkbox"/> 障害特性、診断名を友人には話している <input type="checkbox"/> 診断名を誰にも話していない	特記事項 配慮事項

その他備考になる事項(障害・相談の配慮等)

私は上記の内容を確認し、進学する高等学校等へ情報提供することについて同意しました。

平成 年 月 日 保護者名前 印

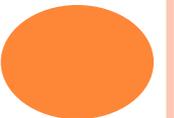


## よくあるQ&A

Q 進路選択する上で必要なことは？

A 将来の自立と社会参加に向けた進路選択ができるよう、早いうちから、学校と話し合っていくことが大切です。  
また、入学相談会等に参加し、希望校を知ることも大切です。

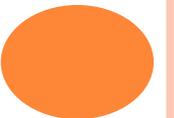
※ 特別支援学校は、入学相談会等への参加が受検資格の一つとなることがあります。



## よくあるQ&A

Q 特別支援学校高等部を受検するために必要な条件は？

A 特別支援学級に在籍または療育手帳を取得している者。  
入学相談会等に参加している者。



## よくあるQ&A

Q 特別支援学級に在籍しながら、すべての教科を交流学級で授業を受けることはできますか？

A 特別支援学級に在籍して当該学年の各教科等の内容を学ぶ子供が、大半の時間を当該学年の通常の学級において交流及び共同学習で学び、通常の学級以外での自立活動における特別な指導の時間が、**週当たり8単位時間**はもとより相当数確保する必要がないと考えられる場合には、通常の学級における指導と通級による指導を組み合わせた指導による対応を検討するべきである。

※ 障害のある子供の教育支援の手引  
～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～ より引用

